

坪井恭紀先生の退職記念号に寄せて

坪井恭紀先生は1980年3月に順天堂大学体育学部体育学科をご卒業後、岡山県高梁市立宇治高等学校、岡山県立倉敷天城高等学校、岡山県立岡山大安寺高等学校、岡山市立岡山後楽館高等学校と33年間保健体育科教諭として勤務されました。その後、2013年4月順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程へ55歳の春に大学院生として入学され、2015年3月にスポーツ健康科学修士の学位を取得されました。そして、2019年4月に徳山大学経済学部ビジネス戦略学科スポーツマネジメントコース准教授として赴任されました。また、2022年には周南公立大学准教授として計4年間、大学にて教鞭をとって頂きました。

坪井先生は、高等学校保健体育科教諭としての豊富な学校教育現場の経験を活かし、本学の教職課程の学生向けに熱心に指導され、これまでに多くの教員免許状取得者を輩出されました。また、多くの学生たちは、全国各地にて教員として活躍しています。さらに昨年度(2022年度)は、現役での教員採用候補者選考試験合格者(小学校教諭)2名の指導に関わって頂きました。まさに、30年以上の学校教育現場経験による的確で無駄のない、授業の賜物です。坪井先生のご貢献に、心より感謝申し上げます。

一方、坪井先生は、中学校・高等学校・大学と陸上競技を続けられ、常に日本のトップ選手として活躍され、混成競技(五種競技・十種競技)では、全国高等学校総合体育大会や日本陸上競技選手権大会での入賞の実績をお持ちです。引退後も高校生や子供たちへ陸上競技指導者として活躍され、全国高等学校総合体育大会や国民体育大会の岡山県代表監督を務め、手腕を発揮されました。本学でも陸上競技部のコーチ・部長としてご指導して頂きました。今年は、その教えが花開き、久しぶりに日本学生陸上競技対校選手権大会へ出場が決まった岡山県出身の学生がいることも、何かの縁を感じます。

この度、徳山大学・周南公立大学の学生たちの成長に貢献された坪井先生のご功績をたたえ、論叢3号を退職記念号とさせていただくことにしました。坪井先生の益々のご活躍とご健勝をお祈りして、本記念号への献辞とさせていただきます。

令和5年6月

周南公立大学経済学部教授 江崎 和希

坪井恭紀先生 献辞

坪井先生は着任以降、教員採用試験の現役合格者を輩出するために様々なプログラムの企画・実施に取り組んで来られました。その中でも特筆すべきは周南市教育委員会 学校教育課ならびに周南市内の小中学校の校長との強い信頼関係を構築されたという点です。坪井先生は周南市内の小中学校の校長会において、双方にとって有益となる事業の提案を行い、それを具現化し、さらに学校現場から高い評価を得ました。人材が不足している学校現場に対して教職履修者の学生らを授業補助者としてボランティア派遣をすることによって、教職履修者である学生にとってはよりリアルな教職体験の機会の構築となりました。昨年度からはその取り組みを本学の教育課程として実施することになり、「学校インターンシップ」の開講に繋がりました。

また教員採用試験の対策を図るために、過去に教員採用試験問題の作問を担当された方や面接官を務められた方との関係性を構築され、教職を強く希望する学生らに対する講話や教員採用試験の出題傾向、模擬面接の実施などといった有益な情報提供かつ効果的な採用試験対策の協力を得るに至りました。その成果もあり、在職最終年度においては徳山大学時代も含め初めての教員採用試験 現役合格者（小学校教諭：山口県）2名の輩出に至っております。そのような点からも、坪井先生は本学教職課程に対し大きな功績を遺され、またこれからの本学教職課程に対する明確な方向性を示されたと考えております。

令和 5 年 6 月

周南公立大学福祉情報学部准教授 瀬尾 賢一郎

坪井恭紀先生ご退職にあたって

坪井先生は、1980年に順天堂大学体育学部をご卒業後、岡山県の高校陸上競技部顧問として多くの陸上選手を育成されてきました。2000年からは岡山県高等学校体育連盟陸上競技専門部の競技力向上委員長と全国高等学校総合体育大会岡山県選手団陸上競技の総監督を務められ、岡山県の陸上競技を牽引する重責を果たされてきました。その後、順天堂大学大学院においてスポーツ健康学修士の学位を取得され、2019年に周南公立大学の前身である徳山大学に奉職されました。

本学では陸上競技の豊富な経験と知識を活かして、陸上競技部の部長を務められました。ご自身が現役選手の際には十種競技で活躍されたことから、幅広い陸上競技種目について造詣が深く、本学においても多くの優秀なアスリート育成に貢献されました。また、先生は競技活動を通じた人間形成にも情熱をもって取り組まれました。常に学生の課題に正面から向き合い、学生の成長を第一として教育にあられる姿がとても印象的でした。

坪井先生の多大なるご貢献に感謝を申し上げますとともに、今後益々のご健勝とご多幸をお祈りして、本記念号への献辞とさせていただきます。

令和5年6月

周南公立大学経済学部准教授 西山 健太